令和８年度第１回三重県糖尿病対策懇話会　議事概要

１　開催日時　　令和８年 10 月 23 日（金）　19：00～20：30

２　開催方法　　Ｚｏｏｍミーティングによるオンライン開催

３　出席者　　住田　安弘　座長　ほか委員 10 名

４　議事概要

（１）第８次三重県医療計画の中間評価について

事務局より、資料１に基づき、第８次三重県医療計画の中間評価の内容や体制、スケジュール等について説明を行った。

＜委員からの意見＞

・特になし

（２）第８次三重県医療計画における糖尿病対策の中間評価（案）について

事務局より、資料２及び資料３に基づき、第８次三重県医療計画における糖尿病対策の中間評価報告書（案）について説明を行った。

＜委員からの意見＞

・糖尿病の可能性を否定できない人、糖尿病が強く疑われる人の割合には明らかな性差があるが、新規透析導入患者数にも性別や地域、年齢等の属性による差があるのかについて、分析を検討してほしい。また、特定保健指導が新規透析導入患者数の増減に影響しているのかについても調査が望まれる。

・保険者においては、要治療者の受診率は減少傾向にあり、新規透析導入患者の増加への影響が懸念される。

・高齢者ほど代謝異常が増加するため、糖尿病が強く疑われる人の増加は、高齢化の影響を受けている可能性がある。一方、平成 19 年以降の糖尿病の可能性を否定できない人の減少は、同時期から開始されたメタボ健診が広がった結果によるものとも考えられ、いずれ糖尿病患者も減少するという観測もできるため、当面は高齢化に伴う患者数の増加の捉え方が問題。

・在宅医療に関わる中で、精神疾患を併発している患者など、多職種で連携しても生活状況を十分に把握できないケースについて、どのように支援していくかが今後の課題。

・働く世代の未受診者が退職後に透析になってしまうケースがあり、保険者には積極的な特定保健指導をお願いしたい。

・特定健康診査と同日に特定保健指導を実施すれば受診率が上がるのではないか。被保険者、被扶養者ともに特定健康診査の同日に特定保健指導を実施するよう進めている保険者においては、実施者の約６割が当日実施で、前年よりも実施数が増加している。

・透析予防外来では、進行した糖尿病性腎症の患者でも長期間介入すると良い効果が得られるというデータが出ているので、行政には治療未受診者や治療中断者を医療へつなげるための取組を期待する。

・各職種で、積極的な研修会の参加や認定資格の取得の呼びかけをお願いしたい。